

## 平成31年度入学式挙行

4月3日、大学院入学式が午前9時からOLIVE SQUARE 多目的ホールにおいて行われ、学長から「真理の追究、すなわち science を探求するということは、art を駆使して神の領域に近づく行為と言える。常に畏怖の念をもって誠実に真理を追究していただきたい。」との告辞がありました。



学部入学式前に自己紹介と大学生活における目標を記入して紹介

引き続き、学部入学式が午前10時から講堂において行われ、学長から、「積極的に色々なコミュニティに参加し、求められる役割を果たしながら様々な人たちとの出会いを楽しんで欲しい。また、人工知能には真似の出来ない感性、知性、理性を身につけて欲しい。」との告辞がありました。



教育学部4年橋本優佳さんから新入生に向けて歓迎の辞

教育学部4年の橋本優佳さんから、新入生へ向けて歓迎の辞があった他、「新入生未来宣言」

と題し、入学式前のオリエンテーションで記入した新入生各人の人生や大学生活における目標と、その目標を実現するために取り組むべ



学部入学式



学長の指揮に合わせて全員で学歌を斉唱。新入生は事前にアカペラサークル「えいおん」の指導のもと練習しました。

く課題を、入学式の中で上映しました。また、学長自らの指揮に合わせ、新入生も一緒に学歌を斉唱しました。

## 平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞

本学の寺尾徹教授（教育学部、四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構併任）、村山聡教授（教育学部、四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構併任）、寺林優教授（創造工学部、香川大学博物館長）、末永慶寛教授（創造工学部、四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構併任）が、学校法人日本大学理工学部の畔柳昭雄特任教授とともに、科学技術賞を受賞しました。

業績の概要は、以下の通りです。地球温暖化に伴う気候の極端化や南海トラフ巨大地震などの災害脅威に対応し、水環境の保全と減災を実装するために、持続可能な社会の仕組みづくりを推進するというグローバル課題への地域社会の関心と機運は、かつてなく高まっています。

本活動は、少雨特性を有し、常に水を大切にしてきた讃岐地方の歴史と活動、瀬戸内海をSATOUMIとして育てる先人の歴史に根差した活動、瀬戸内地方のレジリエントで持続可能な海洋空間の活用、南海トラフ巨大地震や地球温暖化に伴う災害特性研究など、瀬戸内地域の水環境保全の知恵を持続可能社会と減災に活かす科学技術のシーズを育て、講演、エクスカージョン、シンポジウム、学会、論文等により、全国および世界へ発信してきました。

文部科学大臣表彰は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を取った者について、その功績を讃える賞です。今回の表彰は、理解増進部門における「持続可能社会への地域の知恵に学ぶ水環境と減災の理解増進」に係わる活動が評価され、受賞する運びとなりました。



表彰式は4月17日に文部科学省において執り行われました。左から末永教授、寺林教授、寺尾教授、村山教授、日本大学畔柳特任教授。

本活動により、(1)防災対策への意識高揚、(2)震災復興後の地先海域で操業可能な漁場づくり、(3)里海の創生と保全に関する学びと交流の場の拡大等を通して、グローバルな持続可能社会の実現をめざし、地域社会における水環境と減災についての理解の増進、そして、レジリエントな地域社会に向けた科学技術に対する理解の増進に寄与しています。

香川大学では今後、全学でデザイン思考教育を取り入れていきます。ところで「デザイン」とは何でしょう？ そんな疑問に、創造工学部創造工学造形・メディアデザインコース10人の先生方に、「デザイン」と「お一人ずつ決められたテーマ」をかけて、語っていただきました。(7回目 / 10シリーズ)

## DESIGN × TECHNOLOGY

創造工学部創造工学造形・メディアデザインコース教授  
大場晴夫

好きな映画を3本挙げよと言われたら、一本は「ブレッドランナー」を迷わず選ぶ。ソニーでデザインの仕事をしていたころ、この映画を知らないという若手デザイナーに驚き、大切にしているブルーレイを貸して観るように勧めたのだが、その感想は「フツの映画で特に違和感ありませんでした。」と残念なものであった。

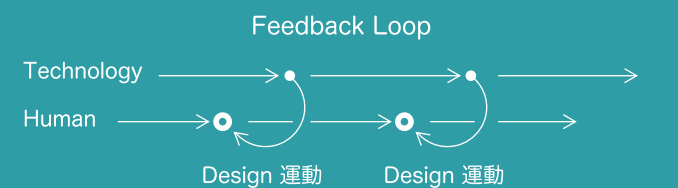
初上映された1982年当時は、まだネットもスマホも存在しない時代。私の頭の中の未来像は手塚治虫の世界観そのものであった。ゴミひとつ落ちていない平和で明るい未来都市で、人々がキュッキュッと靴音を立てて颯爽と歩く、そんなアニメの世界に、私は漠然と未来を想像していた。

しかし、ブレッドランナーが表現した未来は、そんな穏やかな未来とは全く異なっていた。それはまさに今現在、そしてこれから迎えるであろう未来をほぼ正確に予想し表現するものだ。多様な言語が入り交じる場末の喧騒の中、売られていたのは、現代のIPS細胞で複製されたかのような人間の目。古い写真をもとに、撮影位置やフォーカス深度を自由に操作して隠された物を探すシーンは、まさに現代の精密な3次元空間情報を持つライトフィールドカメラ画像であった。私にとって衝撃的だった未来像が、若手デザイナーに「違和感ない」と言わしめたのは、社会と技術の予想が現在に照らし合わせてほぼ正確だからである。この未来を表現したデザイナー、シド・ミードの凄さはここにある。現実社会は40年後に彼に追いついたことになる。

このように、デザインの役割の一つは、見えない未来を見えるようにすることで、驚きや喜びを創出することだ。しかし、同時にもう一つの重要な役割として、デザインによってテクノロジーの課題を解決して来た歴史がある。社会に急速なテクノロジーの進化・発展が起こると、人間はその変化のスピー

ドについていけなくなり、さまざまな問題が生じる。その度に、デザインはその問題を解決するためデザイン運動を起こし、私達の生活や社会を支えてきたと考えている。

例を挙げてみよう。産業革命以来、殺伐とした無機質な造形ばかりが主流となったモダニズムに対して、1980年代にはポスト・モダンの動きが起こり、歴史や文化の暖かさを取り入れたデザインで人間性を取り戻させようとした。また2000年代になると、進みすぎたデジタル技術に対して、私達が普段の生活で行っている当たり前の行為をデジタル世界の中に再現することで、操作を直感的にわかりやすくする実世界指向のデザインが起こった。PCのデスクトップにあるフォルダーやゴミ箱は、まさにこの概念からデザインされたのだ。このような先進技術の翻訳があつてこそ、人は悠々と次のステージに進むことができるのである。この、テクノロジーとデザインの間を私は、Feedback Loopと名付け、実際のデザインの現場で取り組んできた。



昨今デザインに求められる役割はさらに大きく変貌してきた。今やデザインには社会の課題全体の総合的ソリューション力が求められており、デザイナー以外の多くの人々にも、個々の専門性にデザイン思考を融合させる必要性が高まってきた。これからは、AI技術の発達による雇用問題や、高度な医療技術から生じる「命のあり方」の問題などが大きくなって来るだろう。そのような未来に対して、どのようなデザイン運動が生まれ、どのように解決していくのか。それを学び最前線で挑戦していくのは、これを読んでいるあなた達学生なのだ。共に学び、未来の課題に挑んでいこう。



# VOICE

## さかいで沙弥島プロジェクト 初めて見た瀬戸大橋に感動。多くの方に瀬戸大橋の魅力を伝えたい。

私がこのプロジェクトに入ったきっかけは、他の大学にはない香川大学特有のサークルに入りたいと考えたからです。また、坂出に行った際に、初めて見た瀬戸大橋に感銘を受け、胸を打たれたのを覚えています。だから、数ある経済学部プロジェクトの中でも、さかいで沙弥島プロジェクトを選びました。

さかいで沙弥島プロジェクトの主な活動として、坂出市にある瀬戸大橋記念館で Hashicafe というカフェを運営しています。他にも、坂出市の元町商店街で地域の方々と一緒に、第4土曜デーという子ども向けイベントのお手伝いをボランティアで行っています。

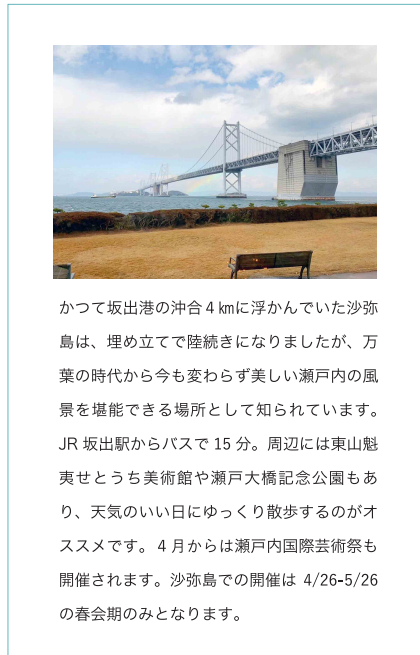
Hashicafeを運営するにあたって一番やりがいを感じたのは、お客様から「瀬戸大橋を眺めながらのカフェは最高」「瀬戸大橋記念館に来てよかった」というお言葉をかけてくださった時でした。私たちがこのプロジェクトを通して多くの方に知ってほしかった瀬戸大橋の魅力が伝わっていることが感じられ、大変誇らしかったです。

カフェメニューでも、香川県産のオリーブオイルを使用したホットサンドや郷土料理の、あんもち雑煮など、地元食材を使用したこだわりのメニューを学生メンバーで考案しました。

学生メンバーで運営する中で、なかなか思うようにいかないことがあったり、生じた課題に対し解決策を見出せなかったりと、頭を抱えることも少なくはありませんでした。その一方で、よりお客様に満足していただけるよう、メンバーと共に Hashicafe を作り上げる充実感、悦ばしさと幸福感を感じました。

さらに、このプロジェクトを通して私たち自身も坂出の魅力を深く知ることができました。地域で起こっている課題やニーズを知り、その解決方法や対応方法について身をもって学ぶことができました。なお、学生が主体的に活動して行く中で、企画力やコミュニケーション能力、実践力を養うことができたと思います。

経済学部経済学科3年生 桑原さくら



かつて坂出港の沖合4kmに浮かんでいた沙弥島は、埋め立てで陸続きになりましたが、万葉の時代から今も変わらず美しい瀬戸内の風景を堪能できる場所として知られています。JR坂出駅からバスで15分。周辺には東山魁夷せとうち美術館や瀬戸大橋記念公園もあり、天気の良い日にゆっくり散歩するのがオススメです。4月からは瀬戸内国際芸術祭も開催されます。沙弥島での開催は4/26-5/26の春会期のみとなります。



Hashicafeで販売しているベリーパフェ。500円です。



瀬戸大橋記念公園で毎年9月に行っている「うどん流し」。好評です。



昨年の香川大学オープンキャンパスでは、坂出市の名産品である塩・レモン・ちみつを、ふんだんに使って「塩レモンかき氷」を提供。



Hashicafe5周年記念で行った紙芝居。



Hashicafe5周年記念で作成したオリジナルチョコレート。



ぶらり坂出街歩きツアー。

# EVENT



3/27

**四国グローバルリーガルセンター**  
現在、TwitterやFacebookといったSNSが世界的規模で使用されています。世界中の色々な言語のひとたちと繋がったり、様々な情報を集めたりすることが簡単にできるようになりました。有益な使い方ができる一方で、簡単

に情報発信ができることから、フェイクニュース、ヘイトなどに翻弄されたりします。今回は「Free Speech, Advancing Technology and the Implications for Democracy」というテーマで、アメリカ・カルイビル大学の Russell L. Weaver (ラッセル・ウィーバー) 教授からアメリカの政治・選挙においてインターネットが活用されている現状や、インターネットにおける言論の自由の在り方についてレクチャーをいただきました。その後、学生と教員で活発な議論がなされました。アメリカの今の状況について、英語でのレクチャーを受けたことは学生にとって、大変有意義なものになったようです。



4/8

**新入生歓迎祭**  
香川大学サークル連合 H.O.P. 主催で新入生歓迎祭が開催されました。幸町キャンパスには各サークルのテントが立ち並び、新入生の勧誘や、特設されたステージでは熱いパフォーマンスが繰り広げられました。

## from International Office



### ちきゅう見聞録



#### アイルランド

経済学部地域社会システム学科  
片山健太  
トビタテ! 留学JAPAN 全国コース第7期生  
2017/9 ~ 2017/12 で語学研修



コーク市にある「Active Centre of English Training」で語学留学をしました。授業ではペアワークやクラス全体でディスカッションする機会が多くあり、複雑なことをいかに自分のことばで伝えていくかという表現力がしっかりと鍛えられました。



アイルランド人は、とにかく音楽好き♪ PUBではサクソフーンやオーボエを持ってきた人たちが音楽を奏で、アイルランドの黒ビール「ギネス」がすすみます。また週末には音楽イベントが多く開催され、この地では音楽なしの生活はありえません。



悪霊を追い払う行事ハロウィン。起源はアメリカと思っている人が多いと思います。でも実はアイルランドだったんです。当日には仮装をして学校に行きます。先生も一日中仮装をして授業をしていました。

read more

